

(2021年6月18日の組織委員会抗議スタンディング@トリトンスクエアでの発言予定稿)

政府の緊急事態宣言が6月20日で解除され、まん延防止措置になるとともに、政府はオリパラは観客を入れての開催という流れになりつつあります。これにより感染状況は厳しさを増すでしょう。最後まで中止の訴えを続けるとともに、仮に大会が開催されたとしても、そこで挫折してはなりません。コロナ禍が拡大する前は、オリンピック開催期間中に少数でも反対の運動を展開する予定だったのですから、いよいよ本番が来たと捉え、パラ終了のあと3カ月間、コロナ禍で浮き彫りになったオリパラそのものの異様さを訴える取り組みを、世論の追い風の中で目いっぱい展開していきましょう。

オリンピック開催まで35日になりました。これからはアスリートの皆さんに向けても訴えを強めていきたいと思えます。橋本聖子会長はじめ多くのアスリートも組織委員会で働いているでしょうから。

アスリートの皆さんに訴えます。

6月1日から始まった日本選手団へのワクチン接種は、強制ではないので、当初は断ろうと思っていた選手もかなりいたようですが、ある選手は接種することに考えを変えた理由をこう述べています。

「ワクチンが国民むけと別枠で用意されたものと知り、冷静に考えた。周りのリスクを下げることに貢献できるのなら接種しようと考え直した」

大会までに1600人の日本選手団の接種率は95%に達する見込みだそうですが、すこし冷静に考えると、この選手の考え方がおかしいことに気が付きます。

アスリートの皆さんに訴えます。

彼は「別枠」というのですが、それは常識的には「特別枠」といわれるものです。あるいは「優先枠」とも言えます。もし1600人の日本選手団が接種するためのリソース（ヒト、カネ、モノ）があるのなら、「不急不要」のスポーツ興業イベントであるオリパラの選手や関係者ではなく、基礎疾患を持つ人や高齢者などの接種を優先すべきでしょう。五輪貴族や五輪奴隷に打つワクチンや人手があるなら、それも地域の住民向けに回すのが、集団免疫獲得の本筋です。

「ワクチン信仰」も「ワクチン陰謀論」のどちらもダメですが、すくなくとも政府の感染症対策の専門家である尾身茂さんが「ワクチン接種は感染対策の一丁目一番地」といっているのであれば、なおのことそう言えるでしょう。もちろん、ワクチン接種の前に本来やるべき「感染症対策の一丁目一番地」は十分なPCR検査と陽性者や濃厚接触者の隔離・保護ですが、それも十分だとは言えないのが現状です。

アスリートの皆さんに訴えます。

「集団免疫の獲得」という点でいえば、「もし五輪が開催されなければその多数が接種しなかったであろう1600人の選手団も接種するのだし、大会関係者に4万人分のワクチンを確保（現状は2万人分）すると丸川珠代五輪大臣も言っているんだから、それはそれで集団免疫の獲得に寄与するので、その選手の言うように『周りのリスクを下げることに貢献する』ことにつながる」という屁理屈もいえなくもないでしょう。

しかし、大会ボランティア7万人、輸送関係12万人のほとんどが「特別枠」での接種はできません。集団免疫を考えるのであれば、開催期間中の移動がある程度制限される選手団や大会関係者よりも、日常的に地域を動き回ることになるボランティアや広範囲の移動が考えられる輸送関係者にこそ、優先して接種すべきでしょう。

アスリートの皆さんに訴えます。

しかし、そもそも4万人分の「特別枠」のワクチンと引き換えに開催されるオリパラが、いったいどれだけ感染リスクを高めているのか、ふつうに考えたらわかることです。他にコロナ五輪を開催したケースはないので比較もできないですが、大会開催のリスクと犠牲、そして利権があまりに大きすぎるとしか言えません。大会まで35日に迫ったいま、五輪中止こそ最大の感染予防なのです。

6月20日以降はまん延防止措置になり、イベントは会場定員の50%以下で上限1万人にまで緩和されます。現状のまん延防止措置は上限5000人だったので、今回の措置は緩和も緩和。このゆるゆるの措置で感染リスクもとうぜん拡大します。観客については今月中に、橋本聖子組織委員会会長、小池百合子東京都知事、丸川珠代五輪担当大臣らが、来日中の東京2020調整委員長のコーツIOC副会長が決めると言われていています。菅首相は「自分が責任を取る」といっていますが、一体どうやって命が失われること責任を取るのでしょうか。

空港での水際作戦もそうです。変異種拡大のレッドリスト国になったイギリスからの選手団は、レッドリスト国からの入国に課される6日間の隔離期間を、他国のオリパラアスリートとおなじように0日にするよう組織委員会と交渉中です。交渉でコロナリスクを低減することなどできません。しかも最大のリスクは7.9万人と言われる海外からの大会関係者ではなく、国内関係者および大会開催のため100万規模の人の動きのほうです。敵は本能寺にあり、主要な敵は国内にいるのです。

アスリートの皆さんに訴えます。

五輪を中止することが「周りのリスクを下げることに一番貢献する」のです。オリパラを中止し、その代わりに7月23日から8月8日までと8月24日から9月5日までの2回の事実上のロックダウン期間を設けて徹底したPCR検査と陽性者と濃厚接触者の隔離・保護の期間とすることこそ必要です。そのためのヒト・カネ・モノがあることは、これまでの五輪開催準備の中で明らかになっています。少なくとも組織委員会の職員5000人、警備3万人、ボランティア7万人、輸送関係者12万人など十分な人員があります。国立競技場をはじめとする競技会場や選手村など、検査のための十分なスペースもあります。オリパラを強行すると大赤字になることは確定で東京都や国が追加の費用をだすことになるので、それならその税金を五輪利権に浪費するよりも、都立公社病院へのさらなる支援をふくむ徹底したコロナ対策のために使う方が税金の使い方としてまっとうです。オリパラのために準備され浪費されようとしているあらゆるリソースが、徹底したコロナ感染拡大の予防と対処のために使えるのです。市松模様の五輪エンブレムからしてそうです。ちょっとデザインに手を加えることで、あっという間にコロナをイメージした図柄に転用できます。パラのほうも安心してください。変異種コロナのデザインに転用できます。

アスリートの皆さんに訴えます。

「せっかくここまで頑張ってきたのに」というアスリートのみなさんもいらっしやるでしょう。それが社会的に

必要なことかどうかは分かりませんが、「努力」という点では僕よりも何倍も努力してきたと思います。しかし安心してください。大会を中止にして、その代わりに徹底した PCR 検査やワクチン接種の実施機関になったとしても、アスリートのみなさんにやれることはたくさんあります。感染に苦しみ、感染の恐怖におびえ、ロックダウン状況においてステイホームを取らざるを得ない地域の人々を元気づけ応援するためのCM出演やパフォーマンスという大切な役割があります。これならスポンサー企業も正々堂々とオリパラ代表アスリートをCMに出演させ、コロナ対策の徹底とステイホームを訴えるのです。ステイホームですから、みんなきっとテレビを見てください。いまこそドブに捨てたマーケティング費用を少しでも取り戻すときです。

もちろんテレビCMの大半を支配し、五輪利権にどっぷりつかっている自民党の選挙対策を一手に引き受けている電通にそんなことは期待できませんので、電通にはこれを機会に倒産してもらいしかありません。スポーツも政治も「結果がすべて」といいますが、政治について言えば、4波にわたる感染拡大、3回の緊急事態宣言、そして緊急事態解除の直前である今もう言われている感染拡大の第5波の到来という結果の責任を、オリパラを推進してきた自公政権や都民ファースト、維新などにとらせる必要があります。都議選と総選挙がそのチャンスです。

アスリートの皆さんに訴えます。

オリンピック、パラリンピアンだけがアスリートではありませんが、オリンピック、パラリンピアンのみなさんに改めて訴えたいと思います。いまこそ東京五輪の参加を集団でボイコットするときです。心配ありません。世論の圧倒的多数はみなさんの味方に付くでしょう。引退後にオリンピックで飯が食えるアスリートは、ほんのひとにぎりです。一日でもはやくオリパラから遠く逃げてください。人権無視の過酷なトレーニングによって、ほとんどの大会アスリートが体を壊しています。肉体的にだけでなく、精神的にもです。とりわけ日本のスポーツ界に強い「指導者絶対」の風潮、理不尽な要求、記録のためだけにあらゆる人権が優生思想に乗っ取られて24時間356日抑えつけられてしまう。そんな理不尽なことはオリパラ教から離れてしまえば、すぐにおかしいとわかることです。いや、みなさんのほうが良く分かっているのかもしれませんが。メダリストをはじめ、勝者がどれだけ祭り上げられたとしても「五輪奴隷」というオリパラのもつ本質は変わりません。

アスリートの皆さんに訴えます。

指導者と権力者のトップダウンや利権で腐りきったスポーツビジネス業界で生きていく必要はありません。オリンピックが「より速く、より高く、より強く」なればなるほど、私たちの社会の民主主義は「より遅く、より低く、より弱く」なるのです。スポーツと社会の関係はもっと幅広くあるべきだし、平等であるべきだし、民主的であるべきです。わたしたちは、今後も街頭で、そして競技場周辺において、アスリート、大会関係者、ボランティア、そしてこれまで五輪はいいものだ勘違いしてきた、すべての五輪奴隷にむけて五輪貴族に対する反乱を呼びかけていきます。

オリンピックとパラリンピックを今すぐ中止しよう。

(スパルタクス団)